2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　GLC GROUP株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2970　ＵＲＬ　https://www.goodlife-c.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）高村　隼人
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理部長　（氏名）徳武　剛　ＴＥＬ　092（471）4123

配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	17,962	5.8	1,360	△28.5	1,254	△33.4	791	△33.6
2025年12月期第３四半期	16,982	41.0	1,902	54.6	1,884	57.1	1,191	47.6

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　792百万円（△33.6%）　2025年12月期第３四半期　1,193百万円（48.0%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	47.70	45.36
2025年12月期第３四半期	72.12	69.06

（注）当社は、2025年10月１日付で普通株式１株につき４株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	19,702	6,663	33.2
2025年12月期	19,023	5,811	30.2

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　6,535百万円　2025年12月期　5,742百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	12.2	2,200	△14.5	2,100	△17.0	1,400	△15.3	84.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	17,352,000株	2025年12月期	17,344,800株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	764,748株	2025年12月期	764,748株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	16,584,561株	2025年12月期３Ｑ	16,519,366株

（注）当社は、2025年10月１日付で普通株式１株につき４株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等に関しては、添付資料の３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10

１．経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当第３四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により、個人消費が堅調に推移し、設備投資においても底堅い動きがみられるなど、国内経済は緩やかな回復傾向にあります。しかしながら、中東情勢をはじめとする地政学リスクの影響や、国内外の金融情勢の動向により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

不動産業界におきましては、人件費や建築資材の高騰に伴う物件価格の上昇に加え、金利の上昇に伴う財務コストの増大など、事業環境の不確実性が高まっており、引き続き市場動向を慎重に見極める必要があります。一方で、主要都市を中心とした賃貸需要は依然として堅調さを保っております。さらに、安定的な賃貸収益の確保に加え、インフレ局面での売却益への期待を背景に、国内外の投資家による投資意欲は引き続き高水準を維持しております。

このような環境のもと、当社グループは、2026年度に開始した「中期経営計画2026-2028」に基づき、投資用新築一棟賃貸マンションの用地仕入、販売、設計、建築、賃貸仲介、賃貸管理、売買仲介、エネルギー供給までをワンストップで担う「不動産ＳＰＡモデル」の深化に努めて参りました。特に、最大の強みである建築（自社施工）を活かし、市場規模の大きい東京エリアへの本格進出を加速させるとともに、新たにホテル事業へ参入し収益構造の多層化を推進しております。

当第３四半期連結累計期間においては、前連結会計年度から開発を行っていた14物件が竣工したことにより、当第３四半期連結会計期間末において当社が企画・開発に携わった物件の竣工棟数は累計208棟、管理戸数は8,542戸となりました。

この結果、売上高は17,962百万円（前年同期比5.8％増）、営業利益1,360百万円（同28.5％減）、経常利益1,254百万円（同33.4％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益791百万円（同33.6％減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第１四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

（アセットクリエーション事業）

当社グループの強みである「創る力（開発・設計・施工）」を単一セグメントへ集約し、フロー型収益の可視化を図っております。当事業を当社グループの成長を牽引する戦略的領域と位置付け、当事業を中心とした積極的な投資と事業拡大を推進して参ります。連結子会社であるGLC株式会社及びGLC建設株式会社においては、主に福岡・熊本・沖縄・東京の各エリアにおいて、投資用新築一棟賃貸マンションの用地仕入、販売、設計、建築及び売買仲介までを一貫して提供しております。また、連結子会社である株式会社デベロップデザインにおいては、首都圏を中心に不動産開発、設計監理及び近隣対策業務を行っております。

アセットクリエーション事業につきましては、中期的な成長戦略の一環として東京エリアでの展開に注力して参りました。その結果として、東京都内で取得した開発用地４物件のうち、当第３四半期連結会計期間において２物件の販売が完了するなど、順調に進捗しております。また、既存事業エリアにおいても堅調に推移し、当第３四半期連結累計期間において14物件が竣工するとともに、GLC株式会社では新規設計契約23件及びGLC建設株式会社では建築に係る工事請負契約14件を受注し、当第３四半期連結会計期間末における進行中の工事は19件となりました。

この結果、アセットクリエーション事業の売上高は16,498百万円（前年同期比4.9％増）、セグメント利益は1,258百万円（同27.6％減）となりました。

（アセットマネジメント事業）

当事業では、アセットクリエーション事業で開発した供給棟数の拡大に伴い、ストック型収益が着実に積み上がる収益構造を強化することで、利益の安定化とキャッシュ・フローの最大化を図っております。当事業は３つの分野で構成されており、１つ目は、連結子会社であるGLC株式会社において賃貸仲介及び賃貸管理サービスを提供しております。２つ目は、連結子会社であるGLC ENERGY株式会社において、主に当社グループが管理を行う物件の入居者様に対し、プロパンガスの供給及び通信サービスの提供を行っております。３つ目は、連結子会社であるGLC COMPASS株式会社において自社が開発したホテルの運営業務を行って参ります。

当第３四半期連結会計期間末において、投資用新築一棟賃貸マンション13物件の引渡し及び新規管理受託16物件により管理受託件数が増加しております。また、プロパンガス供給棟数は193棟となっております。

この結果、アセットマネジメント事業の売上高は1,463百万円（前年同期比17.2％増）、セグメント利益は582百万円（同14.6％増）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ615百万円増加し、16,272百万円となりました。主な要因は、販売用不動産が2,618百万円、完成工事未収入金が250百万円及び未成工事支出金が197百万円増加した一方、仕掛販売用不動産が1,639百万円、現金及び預金が637百万円及び契約資産が171百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ63百万円増加し、3,429百万円となりました。要因は、有形固定資産が93百万円及び投資その他の資産が28百万円増加した一方、無形固定資産が59百万円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ679百万円増加し、19,702百万円となりました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ183百万円減少し、7,797百万円となりました。主な要因は、短期借入金が266百万円及び未払法人税等が250百万円減少した一方、契約負債が418百万円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ10百万円増加し、5,241百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債が24百万円増加した一方、退職給付に係る負債が19百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ172百万円減少し、13,038百万円となりました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ851百万円増加し、6,663百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が791百万円増加したことによります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第３四半期連結累計期間における業績及び今後の見通しを勘案した結果、現時点において2026年２月13日に公表しました業績予想からの変更はありません。

上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、今後の経済情勢など様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,923	5,286
売掛金	175	218
完成工事未収入金	―	250
契約資産	689	517
販売用不動産	6,253	8,872
仕掛販売用不動産	1,639	―
未成工事支出金	298	495
その他	675	630
流動資産合計	15,656	16,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,645	1,691
車両運搬具（純額）	20	15
工具、器具及び備品（純額）	22	15
土地	268	268
リース資産（純額）	61	53
建設仮勘定	27	94
有形固定資産合計	2,045	2,139
無形固定資産		
のれん	700	641
その他	6	6
無形固定資産合計	707	647
投資その他の資産		
繰延税金資産	130	168
その他	503	493
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	613	642
固定資産合計	3,366	3,429
資産合計	19,023	19,702

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	39	49
工事未払金	1,040	1,024
短期借入金	4,228	3,962
１年内返済予定の長期借入金	472	504
リース債務	16	16
契約負債	807	1,225
未払法人税等	423	172
賞与引当金	52	73
預り金	426	466
その他	473	300
流動負債合計	7,980	7,797
固定負債		
長期借入金	5,136	5,150
リース債務	51	42
退職給付に係る負債	26	7
繰延税金負債	10	35
その他	6	6
固定負債合計	5,231	5,241
負債合計	13,211	13,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	69	20
資本剰余金	664	715
利益剰余金	5,398	6,189
自己株式	△406	△406
株主資本合計	5,725	6,517
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16	18
その他の包括利益累計額合計	16	18
新株予約権	69	127
純資産合計	5,811	6,663
負債純資産合計	19,023	19,702

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	16,982	17,962
売上原価	14,102	15,397
売上総利益	2,879	2,564
販売費及び一般管理費	977	1,204
営業利益	1,902	1,360
営業外収益		
受取利息及び配当金	7	12
受取補償金	27	－
補助金収入	5	－
協力金収入	－	7
保険解約返戻金	14	－
その他	18	4
営業外収益合計	74	25
営業外費用		
支払利息	86	116
その他	5	14
営業外費用合計	92	131
経常利益	1,884	1,254
特別損失		
固定資産除売却損	8	－
特別損失合計	8	－
税金等調整前四半期純利益	1,875	1,254
法人税、住民税及び事業税	662	478
法人税等調整額	21	△15
法人税等合計	683	463
四半期純利益	1,191	791
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,191	791

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	1,191	791
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	1
その他の包括利益合計	2	1
四半期包括利益	1,193	792
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,193	792

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	アセットクリエーション事業	アセットマネジメント事業				計		
		賃貸管理	エネルギー	その他	小計			
売上高								
完成工事高	7,143	－	－	－	－	7,143	－	7,143
土地売上高	4,486	－	－	－	－	4,486	－	4,486
建売売上高	3,252	－	－	－	－	3,252	－	3,252
プロパティマネジメント収入	－	1,001	－	－	1,001	1,001	－	1,001
ＬＰガス収入	－	－	239	－	239	239	－	239
その他	729	－	7	－	7	736	－	736
顧客との契約から生じる収益	15,612	1,001	246	－	1,248	16,861	－	16,861
その他の収益	121	－	－	－	－	121	－	121
外部顧客への売上高	15,734	1,001	246	－	1,248	16,982	－	16,982
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	0	42	－	42	56	△56	－
計	15,748	1,001	289	－	1,291	17,039	△56	16,982
セグメント利益又は損失（△）	1,737	483	25	△0	508	2,245	△343	1,902

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△343百万円には、セグメント間取引消去△２百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△341百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	アセットクリエーション事業	アセットマネジメント事業				計		
		賃貸管理	エネルギー	その他	小計			
売上高								
完成工事高	5,087	－	－	－	－	5,087	－	5,087
土地売上高	8,701	－	－	－	－	8,701	－	8,701
建売売上高	2,064	－	－	－	－	2,064	－	2,064
プロパティマネジメント収入	－	1,146	－	－	1,146	1,146	－	1,146
ＬＰガス収入	－	－	308	－	308	308	－	308
その他	498	－	5	－	5	504	－	504
顧客との契約から生じる収益	16,352	1,146	313	－	1,460	17,812	－	17,812
その他の収益	146	－	3	－	3	149	－	149
外部顧客への売上高	16,498	1,146	317	－	1,463	17,962	－	17,962
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	12	31	－	43	43	△43	－
計	16,498	1,158	348	－	1,507	18,005	△43	17,962
セグメント利益又は損失（△）	1,258	546	45	△9	582	1,841	△480	1,360

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△480百万円には、セグメント間取引消去△１百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△479百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間より、持株会社体制への移行に伴い、事業ポートフォリオの最適化及び情報開示の透明性向上を図るため、報告セグメントの区分を変更いたしました。これに伴い、従来「不動産投資マネジメント事業」及び「エネルギー事業」の２区分であった報告セグメントを、「アセットクリエーション事業」及び「アセットマネジメント事業」の２区分へ変更しております。

なお、従来の「不動産投資マネジメント事業」を「アセットクリエーション事業」及び「アセットマネジメント事業」へ分割し、従来「エネルギー事業」及び「その他」に区分しておりました「通信サービス事業」については「アセットマネジメント事業」へ組み入れております。

これに伴い、前四半期連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）
当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	115百万円	140百万円
のれんの償却額	58	58